

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製品名 :KBDドリームH液 K-BFKS

会社名 :富士薬品工業株式会社

住所 :東京都港区麻布台 1-3-12

担当部門 :技術管理室

作成者 :小林 誠一郎

電話番号 :03-3582-8771

FAX番号:03-3582-8774

緊急連絡先 :営業本部 東京都練馬区豊玉北 3-14-10

電話番号:03-3557-6201

:大阪営業所 大阪府吹田市豊津町 22-1

電話番号:06-6384-1351

作成 :2011年1月24日

改訂 :2016年4月26日

整理番号 :500104004

2. 危険有害性の分類

【GHS分類】

—物理化学的性質—

火薬類	:分類対象外
引火性液体	:区分外
自己反応性化学品	:分類できない
自然発火性液体	:分類できない
自己発熱性化学品	:分類できない
水反応可燃性化学品	:分類対象外
酸化性液体	:分類対象外
有機化酸化物	:分類対象外
金属腐食性	:分類できない

—健康に対する有害性—

急性毒性(経口)	:区分外
急性毒性(経皮)	:分類できない
急性毒性(吸入)	:区分外
皮膚腐食性/刺激性	:区分2(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	:区分2(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
皮膚感作性	:区分外
呼吸器感作性	:分類できない
生殖細胞変異原性	:分類できない
発がん性	:分類できない

本データシートは現時点で信頼し得ると考える資料ならびに測定等に基づき作成しております。ご需要家各位での取扱いにおかれましては、これを参考とされて使用条件の実態に即した適切な措置を講じて安全にご使用して下さいますようお願い致します。

生殖毒性	:分類できない
特定標的臓器／全身毒性(単回暴露)	:分類できない
特定標的臓器／全身毒性(反復暴露)	:区分1(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
吸引性呼吸器有毒性	:分類できない
水生環境有毒性(急性／慢性)	:分類できない

【ラベル要素】

絵表示

:



注意喚起語 :危険

危険性有毒情報 :[H315]皮膚刺激(区分2)

:[H319]強い目刺激(区分2)

:[H372]長期にわたる、又は反復暴露による血液系の障害(区分1)

注意書

予防策 :[P280]保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

:[P264]取扱い後は手をよく洗うこと。

:[P260]粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

:[P270]この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。

応急措置 :[P302+P325]皮膚に着いた場合、多量の水で洗うこと。

:[P332+P313]皮膚刺激が生じた場合医師の診察/手当を受けること。

:[P362+P364]汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

:[P305+P351+P338]眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

:[P337+P313]眼の刺激が続く場合、医師の診察/手当を受けること。

保管 :密栓し、直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管すること。

廃棄 :[P501]内容物および容器は、都道府県知事の許可を受けた専門の処理業者に委託して、廃棄すること。

【その他の危険性情報】 :特になし

【国・地域情報】 :「15. 適用法令」の項を参照

3. 物質の特定

単一製品・混合製品の区別 : 混合物

化学名 :

成分及び含有量 :

成分名	含有率 wt%	CAS No.	官報公示	備考
グリコールエーテル類	15~25	登録済み	あり	<ul style="list-style-type: none"> 急性毒性(経口):区分 4 急性毒性(蒸気):区分 3 皮膚腐食性/刺激性:区分 2 特定標的臓器毒性(反復暴露):区分 1
ジオール類	5~10	登録済み	あり	
ポリオール類	5~10	登録済み	あり	
界面活性剤	1~3	登録済み	あり	<ul style="list-style-type: none"> 急性毒性(経皮):区分 5 眼に対する重篤な損傷/刺激性:区分 2A
有機塩類	1~3	登録済み	あり	<ul style="list-style-type: none"> 眼に対する重篤な損傷/刺激性:区分 2A
有機酸類	1~3	登録済み	あり	<ul style="list-style-type: none"> 皮膚腐食性/刺激性:区分 3 眼に対する重篤な損傷/刺激性:区分 2A
硝酸アンモニウム	2	6484-52-2	(1)-395	<ul style="list-style-type: none"> 眼に対する重篤な損傷/刺激性:区分 2A 特定標的臓器毒性(反復暴露):区分 1
水溶性樹脂	1~3	登録済み	あり	
防腐剤	1~3	登録済み	あり	<ul style="list-style-type: none"> 眼に対する重篤な損傷/刺激性:区分 1 皮膚腐食性/刺激性:区分 1 皮膚感作性:区分 1 生殖毒性:区分 2 特定標的臓器/全身毒性(反復暴露):区分 2
染料	1%未満	登録済み	あり	
水	38~68	7732-18-5	対象外	

本データシートは現時点で信頼し得ると考える資料ならびに測定等に基づき作成しております。ご需要家各位での取扱いにおかれましては、これを参考とされて使用条件の実態に即した適切な措置を講じて安全にご使用して下さいますようお願い致します。

4. 応急措置

- 目に入った場合 : 直ちに清浄な水で5分間以上洗い流し、眼科医の処置を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服や靴を脱がせる。その後、付着または接触部を石鹼水で洗淨し、多量の水を用いて洗い流す。
- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移して安静、保湿を保ち、医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせないで、速やかに医師の処置を受ける。

5. 火災時の措置

- 消火方法 : 初期の火災には水、炭酸ガス、粉末などを用いる。
- 消火剤 : 炭酸ガス・泡・粉末(ドライケミカル)消火器、水噴霧。

6. 漏出時の措置

- 陸上の場合 : 多量漏出の場合は土嚢等で流出を防ぎ、バキューム等で吸い取る。少量漏出の場合は、ウエス等で拭き取る。

7. 取り扱い及び保管上の注意

- 取り扱い : 取扱いは、換気の良い場所で行う。眼、皮膚への接触を防止するため、状況に応じ保護眼鏡、保護手袋などの保護具を着用する。
- 保 管 : 凍結、直射日光を避け、室内で保管する。保管時の温度は5℃以下および35℃以上にならないようにする。

8. 暴露防止措置

- 管理濃度 : 管理濃度なし
- 許容濃度 : 日本産業衛生学会 情報なし
ACGIH 情報なし
- 設備対策 : 法で定められたものなし。
- 保護具 : 取り扱いには必要に応じて保護手袋、保護眼鏡、呼吸用保護具、保護衣を着用する。

9. 物理／化学的性質

- 外観等 : 赤色透明液体
- 沸点 : 100℃以上
- 蒸気圧 : 情報なし
- 揮発性 : 情報なし
- 比重 : 1.04(25℃)
- 粘度 : 22.5mPa・s(25℃)
- pH(25℃) : 4.5
- 水への溶解性 : 可溶

10. 危険性情報(安定性・反応性)

引火点	:なし(タグ密閉式)
発火点	:測定データなし
爆発限界	:測定データなし
発火性(自己発火性・水との反応性)	:測定データなし
酸化性	:データなし
自己反応性・爆発性	:なし
粉塵爆発性	:なし
安定性・反応性	:通常の保管においては安定である。
その他	:有用な情報なし

11. 有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

皮膚腐食性	:情報なし。
刺激性(皮膚、目)	:皮膚刺激性あり。眼に入った場合刺激がある。
感作性	:情報なし。
急性毒性(50%致死量等を含む)	:経口急性毒性推定値 5000mg/kg 以上 経皮急性毒性推定値 データなし 吸入急性毒性推定値 20mg/L 以上
亜急性毒性	:データなし
慢性毒性	:測定データなし
変異原性(微生物、染色体異常)	:測定データなし
生殖毒性	:測定データなし
催奇形性	:測定データなし
その他(水と反応して有毒なガスを発生する等を含む)	:なし

12. 環境影響情報

分解性	:測定データなし
蓄積性	:測定データなし
魚毒性	:測定データなし
その他	:pH および硝酸アンモニウムの排水基準あり

13. 廃棄上の注意

事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、または知事等の許可を受けた処理認定業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理すること。

- 廃棄物の処理および清掃に関する法律(第 10,12,13,14 条など)
- 廃棄物の処理および清掃に関する法律(第 2,3,10,12,16 条など)
- 廃棄物の処理および清掃に関する法律施行令(第 1,6,7 条など)

14. 輸送上の注意

直射日光を避け、容器の漏れが無いことを確認し、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

労働安全衛生法・名称を通知すべき危険物および有害物

:硝酸アンモニウム(法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9 政令番号第 308 号)

労働安全衛生法・名称を表示すべき危険物および有害物

:硝酸アンモニウム(法第 57 条、施行令第 18 条 政令番号第 16 の 2 号)

労働安全衛生法・有機則

:該当せず

消防法

:該当せず

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)

:該当せず

16. その他情報

本データシートは製品の安全情報を記したものです。品質に関しましては仕様書等をご参照下さい。

引用文献

“米国 OSHA 危険有害性の周知基準(第 5 版)” JETOC (1995)

“危険物ハンドブック” ギュンター・ホンメル編 シュブリンガー・フェアラー東京 (1991)

“事業者向け GHS 分類ガイダンス 平成 25 年度改訂版” 経済産業省

“職場の安全サイト” 厚生労働省

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製品名 : KBDドリームH液 K-BFNVN

会社名 : 富士薬品工業株式会社

住所 : 東京都港区麻布台 1-3-12

担当部門 : 技術管理室

作成者 : 小林 誠一郎

電話番号 : 03-3582-8771

FAX番号 : 03-3582-8774

緊急連絡先 : 営業本部 東京都練馬区豊玉北 3-14-10

電話番号 : 03-3557-6201

: 大阪営業所 大阪府吹田市豊津町 22-1

電話番号 : 06-6384-1351

作成 : 2010年3月29日

改訂 : 2016年4月26日

整理番号 : 500100902

2. 危険有害性の分類

【GHS分類】

—物理化学的性質—

火薬類	: 分類対象外
引火性液体	: 区分外
自己反応性化学品	: 分類できない
自然発火性液体	: 分類できない
自己発熱性化学品	: 分類できない
水反応可燃性化学品	: 分類対象外
酸化性液体	: 分類対象外
有機化酸化物	: 分類対象外
金属腐食性	: 分類できない

—健康に対する有害性—

急性毒性(経口)	: 区分外
急性毒性(経皮)	: 分類できない
急性毒性(吸入)	: 区分外
皮膚腐食性/刺激性	: 区分2(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	: 区分2(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
皮膚感作性	: 区分外
呼吸器感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない

本データシートは現時点で信頼し得ると考える資料ならびに測定等に基づき作成しております。ご需要家各位での取扱いにおかれましては、これを参考とされて使用条件の実態に即した適切な措置を講じて安全にご使用して下さいますようお願い致します。

生殖毒性	:分類できない
特定標的臓器／全身毒性(単回暴露)	:分類できない
特定標的臓器／全身毒性(反復暴露)	:区分1(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
吸引性呼吸器有毒性	:分類できない
水生環境有毒性(急性／慢性)	:分類できない

【ラベル要素】

絵表示

:



注意喚起語 :危険

危険性有毒情報 :[H315]皮膚刺激(区分2)

:[H319]強い目刺激(区分2)

:[H372]長期にわたる、又は反復暴露による血液系の障害(区分1)

注意書

予防策 :[P280]保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

:[P264]取扱い後は手をよく洗うこと。

:[P260]粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

:[P270]この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。

応急措置 :[P302+P325]皮膚に着いた場合、多量の水で洗うこと。

:[P332+P313]皮膚刺激が生じた場合医師の診察/手当を受けること。

:[P362+P364]汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

:[P305+P351+P338]眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

:[P337+P313]眼の刺激が続く場合、医師の診察/手当を受けること。

:[P314]気分が悪い時は、医師の診察/手当を受けること。

保管 :密栓し、直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管すること。

廃棄 :[P501]内容物および容器は、都道府県知事の許可を受けた専門の処理業者に委託して、
廃棄すること。

【その他の危険性情報】 :特になし

【国・地域情報】 :「15. 適用法令」の項を参照

3. 物質の特定

単一製品・混合製品の区別 : 混合物

化学名 :

成分及び含有量 :

成分名	含有率 wt%	CAS No.	官報公示	備考
グリコールエーテル類	15～35	登録済み	あり	<ul style="list-style-type: none"> ・急性毒性(経口):区分4 ・急性毒性(蒸気):区分3 ・皮膚腐食性/刺激性:区分2 ・特定標的臓器毒性(反復暴露):区分1
グリコール類	10～15	登録済み	あり	
界面活性剤	1～3	登録済み	あり	<ul style="list-style-type: none"> ・急性毒性(経皮):区分5 ・眼に対する重篤な損傷/刺激性:区分2A
有機塩類	1～3	登録済み	あり	<ul style="list-style-type: none"> ・眼に対する重篤な損傷/刺激性:区分2A
有機酸類	1～3	登録済み	あり	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚腐食性/刺激性:区分3 ・眼に対する重篤な損傷/刺激性:区分2A
硝酸アンモニウム	1	6484-52-2	(1)-395	<ul style="list-style-type: none"> ・眼に対する重篤な損傷/刺激性:区分2A ・特定標的臓器毒性(反復暴露):区分1
水溶性樹脂	1～3	登録済み	あり	
防腐剤	1～3	登録済み	あり	<ul style="list-style-type: none"> ・眼に対する重篤な損傷/刺激性:区分1 ・皮膚腐食性/刺激性:区分1 ・皮膚感作性:区分1 ・生殖毒性:区分2 ・特定標的臓器/全身毒性(反復暴露):区分2
水	34～69	7732-18-5	対象外	

本データシートは現時点で信頼し得ると考える資料ならびに測定等に基づき作成しております。ご需要家各位での取扱いにおかれましては、これを参考とされて使用条件の実態に即した適切な措置を講じて安全にご使用して下さいますようお願い致します。

4. 応急措置

- 目に入った場合 : 直ちに清浄な水で5分間以上洗い流し、眼科医の処置を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服や靴を脱がせる。その後、付着または接触部を石鹼水で洗淨し、多量の水を用いて洗い流す。
- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移して安静、保湿を保ち、医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせないで、速やかに医師の処置を受ける。

5. 火災時の措置

- 消火方法 : 初期の火災には水、炭酸ガス、粉末などを用いる。
- 消火剤 : 炭酸ガス・泡・粉末(ドライケミカル)消火器、水噴霧。

6. 漏出時の措置

- 陸上の場合 : 多量漏出の場合は土嚢等で流出を防ぎ、バキューム等で吸い取る。少量漏出の場合は、ウエス等で拭き取る。

7. 取り扱い及び保管上の注意

- 取り扱い : 取扱いは、換気の良い場所で行う。眼、皮膚への接触を防止するため、状況に応じ保護眼鏡、保護手袋などの保護具を着用する。
- 保 管 : 凍結、直射日光を避け、室内で保管する。保管時の温度は5℃以下および40℃以上にならないようにする。

8. 暴露防止措置

- 管理濃度 : 管理濃度なし
- 許容濃度 : 日本産業衛生学会 情報なし
ACGIH 情報なし
- 設備対策 : 法で定められたものなし。
- 保護具 : 取り扱いには必要に応じて保護手袋、保護眼鏡、呼吸用保護具、保護衣を着用する。

9. 物理／化学的性質

- 外観等 : 無色液体
- 沸点 : 100℃以上
- 蒸気圧 : 情報なし
- 揮発性 : 情報なし
- 比重 : 1.010(25℃)
- 粘度 : 6.0mPa・s(25℃)
- pH : 4.7(25℃)
- 水への溶解性 : 可溶

10. 危険性情報(安定性・反応性)

引火点	:なし(タグ密閉式)
発火点	:測定データなし
爆発限界	:測定データなし
発火性(自己発火性・水との反応性)	:測定データなし
酸化性	:データなし
自己反応性・爆発性	:なし
粉塵爆発性	:なし
安定性・反応性	:通常の保管においては安定である。
その他	:有用な情報なし

11. 有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

皮膚腐食性	:情報なし
刺激性(皮膚、目)	:皮膚刺激性あり。眼に入った場合刺激がある。
感作性	:情報なし
急性毒性(50%致死量等を含む)	:経口急性毒性推定値 5000mg/kg 以上 経皮急性毒性推定値 データなし 吸入急性毒性推定値 20mg/L 以上
亜急性毒性	:データなし
慢性毒性	:測定データなし
変異原性(微生物、染色体異常)	:測定データなし
生殖毒性	:測定データなし
催奇形性	:測定データなし
その他(水と反応して有毒なガスを発生する等を含む)	:なし

12. 環境影響情報

分解性	:測定データなし
蓄積性	:測定データなし
魚毒性	:測定データなし
その他	:pH および硝酸アンモニウムの排水基準あり

13. 廃棄上の注意

事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、または知事等の許可を受けた処理認定業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理すること。

- 廃棄物の処理および清掃に関する法律(第 10,12,13,14 条など)
- 廃棄物の処理および清掃に関する法律(第 2,3,10,12,16 条など)
- 廃棄物の処理および清掃に関する法律施行令(第 1,6,7 条など)

14. 輸送上の注意

直射日光を避け、容器の漏れが無いことを確認し、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

労働安全衛生法・名称を通知すべき危険物および有害物

:硝酸アンモニウム(法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9 政令番号第 308 号)

労働安全衛生法・名称を表示すべき危険物および有害物

:硝酸アンモニウム(法第 57 条、施行令第 18 条 政令番号第 16 の 2 号)

労働安全衛生法・有機則 :該当せず

消防法 :該当せず

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法) :該当せず

16. その他情報

本データシートは製品の安全情報を記したものです。品質に関しましては仕様書等をご参照下さい。

引用文献

“米国 OSHA 危険有害性の周知基準(第 5 版)” JETOC(1995)

“危険物ハンドブック” ギュンター・ホンメル編 シュブリンガー・フェアラー東京(1991)

“事業者向け GHS 分類ガイダンス 平成 25 年度改訂版” 経済産業省

“職場の安全サイト” 厚生労働省

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製品名 : KBDドリームH液 K-MPSI

会社名 : 富士薬品工業株式会社

住所 : 東京都港区麻布台 1-3-12

担当部門 : 技術管理室

作成者 : 小林 誠一郎

電話番号 : 03-3582-8771

FAX番号: 03-3582-8774

緊急連絡先 : 営業本部 東京都練馬区豊玉北 3-14-10

電話番号: 03-3557-6201

: 大阪営業所 大阪府吹田市豊津町 22-1

電話番号: 06-6384-1351

作成 : 2012年 5月 2日

改訂 : 2016年 4月 26日

整理番号 : 500104102

2. 危険有害性の分類

【GHS分類】

－物理化学的性質－

火薬類	: 分類対象外
引火性液体	: 区分3(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
自己反応性化学品	: 分類できない
自然発火性液体	: 分類できない
自己発熱性化学品	: 分類できない
水反応可燃性化学品	: 分類対象外
酸化性液体	: 分類対象外
有機化酸化物	: 分類対象外
金属腐食性	: 分類できない

－健康に対する有害性－

急性毒性(経口)	: 区分5(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
急性毒性(経皮)	: 分類できない
急性毒性(吸入)	: 区分外
皮膚腐食性/刺激性	: 区分2(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	: 区分2(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
皮膚感作性	: 区分外
呼吸器感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない

本データシートは現時点で信頼し得ると考える資料ならびに測定等に基づき作成しております。ご需要家各位での取扱いにおかれましては、これを参考とされて使用条件の実態に即した適切な措置を講じて安全にご使用して下さいますようお願い致します。

生殖毒性	:分類できない
特定標的臓器／全身毒性(単回暴露)	:分類できない
特定標的臓器／全身毒性(反復暴露)	:区分1(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
吸引性呼吸器有毒性	:分類できない
水生環境有毒性(急性／慢性)	:分類できない

【ラベル要素】

絵表示 : 

注意喚起語 : 危険
 危険性有毒情報 : [H226]引火性液体および蒸気(区分3)
 : [H303]飲み込むと有毒のおそれ(区分5)
 : [H315]皮膚刺激(区分2)
 : [H319]強い目刺激(区分2)
 : [H372]長期にわたる、又は反復暴露による血液系の障害(区分1)

注意書

予防策 : [P210]熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。
 : [P223]容器を密閉しておくこと。
 : [P240]容器を接地すること/アースをとること
 : [P241]防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
 : [P242]火花を発生させない工具を使用すること。
 : [P243]静電気放電に対する予防措置を講ずること。
 : [P280]保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
 : [P264]取扱い後は手をよく洗うこと。
 : [P260]粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
 : [P270]この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。

応急措置 : [P303 + P361 + P353]皮膚(または髪)にかかった場合
 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
 : [P370+P378]火災の場合は適切な手段をとること
 : [P302+P325]皮膚に着いた場合、多量の水で洗うこと。
 : [P332+P313]皮膚刺激が生じた場合医師の診察/手当を受けること。
 : [P362+P364]汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
 : [P305+P351+P338]眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。
 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
 : [P337+P313]眼の刺激が続く場合、医師の診察/手当を受けること。
 : [P314]気分が悪い時は、医師の診察/手当を受けること。

- 保管 : [P403 + P235]換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
 : 密栓し、直射日光を避け、冷暗所に保管すること。
- 廃棄 : [P501]内容物および容器は、都道府県知事の許可を受けた専門の処理業者に委託して、
 廃棄すること。

【その他の危険性情報】 : 特になし

【国・地域情報】 : 「15. 適用法令」の項を参照

3. 物質の特定

単一製品・混合製品の区別 : 混合物

成分及び含有量 :

成分名	含有率 wt%	CAS No.	官報公示	備考
グリコールエーテル類	25～30	登録済み	あり	<ul style="list-style-type: none"> ・急性毒性(経口):区分 4 ・急性毒性(蒸気):区分 3 ・皮膚腐食性/刺激性:区分 2 ・特定標的臓器毒性(反復暴露):区分 1
グリコール類	10～15	登録済み	あり	
ポリオール類	5～10	登録済み	あり	
界面活性剤	1～3	登録済み	あり	<ul style="list-style-type: none"> ・急性毒性(経皮):区分 5 ・眼に対する重篤な損傷/刺激性:区分 2A
有機塩類	1～3	登録済み	あり	<ul style="list-style-type: none"> ・眼に対する重篤な損傷/刺激性:区分 2A
有機酸類	1～3	登録済み	あり	<ul style="list-style-type: none"> ・眼に対する重篤な損傷/刺激性:区分 1
水溶性樹脂	1～3	登録済み	あり	
防腐剤	1～3	登録済み	あり	<ul style="list-style-type: none"> ・眼に対する重篤な損傷/刺激性:区分 1 ・皮膚腐食性/刺激性:区分 1 ・皮膚感作性:区分 1 ・生殖毒性:区分 2 ・特定標的臓器/全身毒性(反復暴露):区分 2
染料	1%未満	登録済み	あり	
水	30～65	7732-18-5	対象外	

本データシートは現時点で信頼し得ると考える資料ならびに測定等に基づき作成しております。ご需要家各位での取扱いにおかれましては、これを参考とされて使用条件の実態に即した適切な措置を講じて安全にご使用して下さいますようお願い致します。

4. 応急措置

- 目に入った場合 : 直ちに清浄な水で5分間以上洗い流し、眼科医の処置を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服や靴を脱がせる。その後、付着または接触部を石鹼水で洗淨し、多量の水を用いて洗い流す。
- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移して安静、保湿を保ち、医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせないで、速やかに医師の処置を受ける。

5. 火災時の措置

- 消火方法 : 初期の火災には水、炭酸ガス、粉末などを用いる。
- 消火剤 : 炭酸ガス・泡・粉末(ドライケミカル)消火器、水噴霧。

6. 漏出時の措置

- 陸上の場合 : 多量漏出の場合は土嚢等で流出を防ぎ、バキューム等で吸い取る。
少量漏出の場合は、ウェス等で拭き取る。

7. 取り扱い及び保管上の注意

- 取り扱い : 取り扱いは、換気の良い場所で行う。眼、皮膚への接触を防止するため、状況に応じ保護眼鏡、保護手袋などの保護具を着用する。
- 保 管 : 凍結、直射日光を避け、室内で保管する。保管時の温度は5℃以下および40℃以上にならないようにする。

8. 暴露防止措置

- 管理濃度 : 管理濃度なし
- 許容濃度 : 日本産業衛生学会 情報なし
ACGIH 情報なし
- 設備対策 : 法で定められたものなし。
- 保護具 : 取り扱いには必要に応じて保護手袋、保護眼鏡、呼吸用保護具、保護衣を着用する。

9. 物理／化学的性質

- 外観等 : 赤色透明液体
- 沸点 : 100℃以上
- 蒸気圧 : 情報なし
- 揮発性 : 情報なし
- 比重 : 1.030 (25℃)
- 粘度 : 12mPa・s (25℃)
- pH (25℃) : 4.8
- 水への溶解性 : 可溶

10. 危険性情報(安定性・反応性)

引火点	:58℃(タグ密閉式)
発火点	:測定データなし
爆発限界	:測定データなし
発火性(自己発火性・水との反応性)	:測定データなし
酸化性	:データなし
自己反応性・爆発性	:なし
粉塵爆発性	:なし
安定性・反応性	:通常の保管においては安定である。
その他	:有用な情報なし

11. 有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

皮膚腐食性	:情報なし。
刺激性(皮膚、目)	:皮膚刺激性あり。眼に入った場合刺激がある。
感作性	:情報なし。
急性毒性(50%致死量等を含む)	:経口急性毒性推定値 4978mg/kg 経皮急性毒性推定値 データなし 吸入急性毒性推定値 20mg/L 以上
亜急性毒性	:データなし
慢性毒性	:測定データなし
変異原性(微生物、染色体異常)	:測定データなし
生殖毒性	:測定データなし
催奇形性	:測定データなし
その他(水と反応して有毒なガスを発生する等を含む)	:なし

12. 環境影響情報

分解性	:測定データなし
蓄積性	:測定データなし
魚毒性	:測定データなし
その他	:pHの排水基準あり

13. 廃棄上の注意

事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、または知事等の許可を受けた処理認定業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理すること。

- 廃棄物の処理および清掃に関する法律(第 10,12,13,14 条など)
- 廃棄物の処理および清掃に関する法律(第 2,3,10,12,16 条など)
- 廃棄物の処理および清掃に関する法律施行令(第 1,6,7 条など)

14. 輸送上の注意

直射日光を避け、容器の漏れが無いことを確認し、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

労働安全衛生法・有機則	: 非該当
消防法	: 危険物第4類第2石油類に該当
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)	: 該当せず

16. その他情報

本データシートは製品の安全情報を記したものです。品質に関しましては仕様書等をご参照下さい。

引用文献

“米国 OSHA 危険有害性の周知基準(第5版)” JETOC (1995)
“危険物ハンドブック” ギュンター・ホンメル編 シュプリンガー・フェアラー東京 (1991)
“事業者向け GHS 分類ガイダンス 平成 25 年度改訂版” 経済産業省
“職場の安全サイト” 厚生労働省

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製 品 名 :KBDドリームH液 K-NX2

会 社 名 :富士薬品工業株式会社

住 所 :東京都港区麻布台 1-3-12

担 当 部 門 :技術管理室

作 成 者 :小林 誠一郎

電 話 番 号 :03-3582-8771

FAX番号:03-3582-8774

緊急連絡先 :営業本部 東京都練馬区豊玉北 3-14-10

電話番号:03-3557-6201

:大阪営業所 大阪府吹田市豊津町 22-1

電話番号:06-6384-1351

作 成 :2008年7月1日

改 訂 :2016年4月26日

整 理 番 号 :50010130

2. 危険有害性の分類

【GHS分類】

—物理化学的性質—

火薬類	:分類対象外
引火性液体	:区分外
自己反応性化学品	:分類できない
自然発火性液体	:分類できない
自己発熱性化学品	:分類できない
水反応可燃性化学品	:分類対象外
酸化性液体	:分類対象外
有機化酸化物	:分類対象外
金属腐食性	:分類できない

—健康に対する有害性—

急性毒性(経口)	:区分外
急性毒性(経皮)	:区分外
急性毒性(吸入)	:区分外
皮膚腐食性/刺激性	:区分2(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	:区分2(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
皮膚感作性	:区分外
呼吸器感作性	:分類できない
生殖細胞変異原性	:分類できない
発がん性	:分類できない

本データシートは現時点で信頼し得ると考える資料ならびに測定等に基づき作成しております。ご需要家各位での取扱いにおかれましては、これを参考とされて使用条件の実態に即した適切な措置を講じて安全にご使用して下さいますようお願い致します。

生殖毒性	:分類できない
特定標的臓器／全身毒性(単回暴露)	:分類できない
特定標的臓器／全身毒性(反復暴露)	:区分2(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
吸引性呼吸器有毒性	:分類できない
水生環境有毒性(急性／慢性)	:分類できない

【ラベル要素】

絵表示

:



注意喚起語 : 警告

危険性有害情報 : [H315]皮膚刺激(区分2)

: [H319]強い目刺激(区分2)

: [H373]長期にわたる、又は反復暴露による血液系の障害のおそれ(区分2)

注意書

予防策 : [P280]保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

: [P264]取扱い後は手をよく洗うこと。

: [P260]粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

: [P270]この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。

応急措置 : [P370+P378]火災の場合は適切な手段をとること。

: [P302+P325]皮膚に着いた場合、多量の水で洗うこと。

: [P332+P313]皮膚刺激が生じた場合医師の診察/手当を受けること。

: [P362+P364]汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

: [P305+P351+P338]眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

: [P337+P313]眼の刺激が続く場合、医師の診察/手当を受けること。

: [P314]気分が悪い時は、医師の診察/手当を受けること。

保管 : 密栓し、直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管すること。

廃棄 : [P501]内容物および容器は、都道府県知事の許可を受けた専門の処理業者に委託して、
廃棄すること。

【その他の危険性情報】 : 特になし

【国・地域情報】 : 「15. 適用法令」の項を参照

3. 物質の特定

単一製品・混合製品の区別 : 混合物

化学名 :

成分及び含有量 :

成分名	含有率 wt%	官報公示	CAS No.	備考
グリコールエーテル類	10～20	あり	登録済み	<ul style="list-style-type: none"> ・急性毒性(経口):区分 5 ・急性毒性(経皮):区分 5 ・急性毒性(吸入):区分 5 ・皮膚腐食性/刺激性:区分 2 ・眼に対する重篤な損傷 /刺激性:区分 2B
アルコキシアルコール類	30～50	あり	登録済み	<ul style="list-style-type: none"> ・急性毒性(経口):区分 5 ・急性毒性(経皮):区分 5 ・眼に対する重篤な損傷 /刺激性:区分 2B
界面活性剤	1～5	あり	登録済み	<ul style="list-style-type: none"> ・急性毒性(経皮):区分 5 ・眼に対する重篤な損傷 /刺激性:区分 2A
硝酸アンモニウム	2	(1)-395	6484-52-2	<ul style="list-style-type: none"> ・眼に対する重篤な損傷 /刺激性:区分 2A ・特定標的臓器毒性(反復暴露) :区分 1
有機塩類	1%未満	あり	登録済み	
有機酸類	1%未満	あり	登録済み	
水溶性樹脂	1～3	あり	登録済み	
防腐剤	1～3	あり	登録済み	<ul style="list-style-type: none"> ・眼に対する重篤な損傷 /刺激性:区分 1 ・皮膚腐食性/刺激性:区分 1 ・皮膚感作性:区分 1 ・生殖毒性:区分 2 ・特定標的臓器/全身毒性 (反復暴露):区分 2
水	15～56	対象外	7732-18-5	

本データシートは現時点で信頼し得ると考える資料ならびに測定等に基づき作成しております。ご需要家各位での取扱いにおかれましては、これを参考とされて使用条件の実態に即した適切な措置を講じて安全にご使用して下さいますようお願い致します。

4. 応急措置

- 目に入った場合 : 直ちに清浄な水で5分間以上洗い流し、眼科医の処置を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服や靴を脱がせる。その後、付着または接触部を石鹼水で洗淨し、多量の水を用いて洗い流す。
- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移して安静、保湿を保ち、医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせないで、速やかに医師の処置を受ける。

5. 火災時の措置

- 消火方法 : 初期の火災には水、炭酸ガス、粉末などを用いる。
- 消火剤 : 炭酸ガス・泡・粉末(ドライケミカル)消火器、水噴霧。

6. 漏出時の措置

- 陸上の場合 : 多量漏出の場合は土嚢等で流出を防ぎ、バキューム等で吸い取る。
少量漏出の場合は、ウエス等で拭き取る。

7. 取り扱い及び保管上の注意

- 取り扱い : 取り扱いは、換気の良い場所で行う。
眼、皮膚への接触を防止するため、状況に応じ保護具を着用する。
- 保 管 : 凍結、直射日光を避け、室内で保管する。
保管時の温度は5℃以下および 40℃以上にならないようにする。

8. 暴露防止措置

- 管理濃度 : 管理濃度なし
- 許容濃度 : 日本産業衛生学会 情報なし
ACGIH 情報なし
- 設備対策 : 法で定められたものなし。
- 保護具 : 取り扱いには必要に応じて、保護手袋、保護眼鏡、呼吸用保護具、保護衣を着用する。

9. 物理／化学的性質

- 外観等 : 透明液体
- 沸点 : 100℃以上
- 蒸気圧 : 情報なし
- 揮発性 : 情報なし
- 比重 : 0.988 (25℃)
- 粘度 : 7.5mPa・s (25℃)
- pH : 4.6 (25℃)
- 水への溶解性 : 可溶

本データシートは現時点で信頼し得ると考える資料ならびに測定等に基づき作成しております。ご需要家各位での取扱いにおかれましては、これを参考とされて使用条件の実態に即した適切な措置を講じて安全にご使用して下さいます様お願い致します。

10. 危険性情報(安定性・反応性)

引火点	:なし(タグ密閉式)
発火点	:測定データなし
爆発限界	:測定データなし
発火性(自己発火性・水との反応性)	:測定データなし
酸化性	:データなし
自己反応性・爆発性	:なし
粉塵爆発性	:なし
安定性・反応性	:通常の保管においては安定である。
その他	:有用な情報なし

11. 有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

皮膚腐食性	:情報なし
刺激性(皮膚、目)	:皮膚刺激性あり。眼に入った場合刺激がある。
感作性	:情報なし
急性毒性(50%致死量等を含む)	:経口急性毒性推定値 5000mg/kg 以上 経皮急性毒性推定値 5000mg/kg 以上 吸入急性毒性推定値 20mg/L 以上
亜急性毒性	:データなし
慢性毒性	:測定データなし
変異原性(微生物、染色体異常)	:測定データなし
生殖毒性	:測定データなし
催奇形性	:測定データなし
その他(水と反応して有毒なガスを発生する等を含む)	:なし

12. 環境影響情報

分解性	:測定データなし
蓄積性	:測定データなし
魚毒性	:測定データなし
その他	:pH および硝酸アンモニウムの排水基準あり

13. 廃棄上の注意

事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、または知事等の許可を受けた処理認定業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理すること。

- 廃棄物の処理および清掃に関する法律(第 10,12,13,14 条など)
- 廃棄物の処理および清掃に関する法律(第 2,3,10,12,16 条など)
- 廃棄物の処理および清掃に関する法律施行令(第 1,6,7 条など)

14. 輸送上の注意

直射日光を避け、容器の漏れが無いことを確認し、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

労働安全衛生法・名称を通知すべき危険物および有害物

:硝酸アンモニウム(法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9 政令番号第 308 号)

労働安全衛生法・名称を表示すべき危険物および有害物

:硝酸アンモニウム(法第 57 条、施行令第 18 条 政令番号第 16 の 2 号)

労働安全衛生法・有機則 :該当せず

消防法 :該当せず

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法) :該当せず

16. その他情報

本データシートは製品の安全情報を記したものです。品質に関しましては仕様書等をご参照下さい。

引用文献

“米国 OSHA 危険有害性の周知基準(第 5 版)” JETOC(1995)

“危険物ハンドブック” ギュンター・ホンメル編 シュブリンガー・フェアラー東京(1991)

“事業者向け GHS 分類ガイダンス 平成 25 年度改訂版” 経済産業省

“職場の安全サイト” 厚生労働省

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製 品 名 :KBDドリームH液 K-UPO

会 社 名 :富士薬品工業株式会社

住 所 :東京都港区麻布台 1-3-12

担 当 部 門 :技術管理室

作 成 者 :小林 誠一郎

電 話 番 号 :03-3582-8771

FAX番号:03-3582-8774

緊急連絡先 :営業本部 東京都練馬区豊玉北 3-14-10

電話番号:03-3557-6201

:大阪営業所 大阪府吹田市豊津町 22-1

電話番号:06-6384-1351

作 成 :2006年11月29日

改 訂 :2016年4月26日

整 理 番 号 :500100405

2. 危険有害性の分類

【GHS分類】

—物理化学的性質—

火薬類	:分類対象外
引火性液体	:区分外
自己反応性化学品	:分類できない
自然発火性液体	:分類できない
自己発熱性化学品	:分類できない
水反応可燃性化学品	:分類対象外
酸化性液体	:分類対象外
有機化酸化物	:分類対象外
金属腐食性	:分類できない

—健康に対する有害性—

急性毒性(経口)	:区分外
急性毒性(経皮)	:分類できない
急性毒性(吸入)	:区分外
皮膚腐食性/刺激性	:区分2(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	:区分2(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
皮膚感作性	:区分外
呼吸器感作性	:分類できない
生殖細胞変異原性	:分類できない
発がん性	:分類できない

本データシートは現時点で信頼し得ると考える資料ならびに測定等に基づき作成しております。ご需要家各位での取扱いにおかれましては、これを参考とされて使用条件の実態に即した適切な措置を講じて安全にご使用して下さいますようお願い致します。

生殖毒性	:分類できない
特定標的臓器／全身毒性(単回暴露)	:分類できない
特定標的臓器／全身毒性(反復暴露)	:区分2(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
吸引性呼吸器有毒性	:分類できない
水生環境有毒性(急性／慢性)	:分類できない

【ラベル要素】

絵表示

:



注意喚起語 :警告

危険性有毒情報 :[H315]皮膚刺激(区分2)

:[H319]強い目刺激(区分2)

:[H372]長期にわたる、又は反復暴露による血液系の障害のおそれ(区分2)

予防策 :[P280]保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

:[P264]取扱い後は手をよく洗うこと。

:[P260]粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

:[P270]この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。

応急措置 :[P302+P325]皮膚に着いた場合、多量の水で洗うこと。

:[P332+P313]皮膚刺激が生じた場合医師の診察/手当を受けること。

:[P362+P364]汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

:[P305+P351+P338]眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

:[P337+P313]眼の刺激が続く場合、医師の診察/手当を受けること。

:[P314]気分が悪い時は、医師の診察/手当を受けること。

保管 :密栓し、直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管すること。

廃棄 :[P501]内容物および容器は、都道府県知事の許可を受けた専門の処理業者に委託して、
廃棄すること。

【その他の危険性情報】 :特になし

【国・地域情報】 :「15. 適用法令」の項を参照

3. 物質の特定

単一製品・混合製品の区別 : 混合物

成分及び含有量 :

成分名	含有率 wt%	官報公示	CAS No.	備考
ポリオール類	15～25	あり	登録済み	
グリコールエーテル類	5～10	あり	登録済み	<ul style="list-style-type: none"> 急性毒性(経口):区分4 急性毒性(蒸気):区分3 皮膚腐食性/刺激性:区分2 特定標的臓器毒性(反復暴露):区分1
アルコキシアルコール類	5～10	あり	登録済み	<ul style="list-style-type: none"> 急性毒性(経口):区分5 急性毒性(経皮):区分5 眼に対する重篤な損傷/刺激性:区分2B
界面活性剤	5～8	あり	登録済み	<ul style="list-style-type: none"> 急性毒性(経口):区分5 急性毒性(経皮):区分5 急性毒性(吸入):区分4 眼に対する重篤な損傷/刺激性:区分2A
硝酸アンモニウム	1	(1)-395	6484-52-2	<ul style="list-style-type: none"> 眼に対する重篤な損傷/刺激性:区分2A 特定標的臓器毒性(反復暴露):区分1
水溶性樹脂	1～5	あり	登録済み	
防腐剤	1～3	あり	登録済み	<ul style="list-style-type: none"> 眼に対する重篤な損傷/刺激性:区分1 皮膚腐食性/刺激性:区分1 皮膚感作性:区分1 生殖毒性:区分2 特定標的臓器/全身毒性(反復暴露):区分2
有機酸類	1～3	あり	登録済み	<ul style="list-style-type: none"> 皮膚腐食性/刺激性:区分3 眼に対する重篤な損傷/刺激性:区分2A
有機塩類	1～3	あり	登録済み	<ul style="list-style-type: none"> 眼に対する重篤な損傷/刺激性:区分2A
水	32～60	対象外	7732-18-5	

本データシートは現時点で信頼し得ると考える資料ならびに測定等に基づき作成しております。ご需要家各位での取扱いにおかれましては、これを参考とされて使用条件の実態に即した適切な措置を講じて安全にご使用して下さいますようお願い致します。

4. 応急措置

- 目に入った場合 : 直ちに清浄な水で5分間以上洗い流し、眼科医の処置を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服や靴を脱がせる。その後、付着または接触部を石鹼水で洗淨し、多量の水を用いて洗い流す。
- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移して安静、保湿を保ち、医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせないで、速やかに医師の処置を受ける。

5. 火災時の措置

- 消火方法 : 初期の火災には水、炭酸ガス、粉末などを用いる。
- 消火剤 : 炭酸ガス・泡・粉末(ドライケミカル)消火器、水噴霧。

6. 漏出時の措置

- 陸上の場合 : 多量漏出の場合は土嚢等で流出を防ぎ、バキューム等で吸い取る。少量漏出の場合は、ウエス等で拭き取る。

7. 取り扱い及び保管上の注意

- 取り扱い : 取扱いは、換気の良い場所で行う。眼、皮膚への接触を防止するため、状況に応じ保護眼鏡、保護手袋などの保護具を着用する。
- 保 管 : 凍結、直射日光を避け、室内で保管する。保管時の温度は5℃以下および40℃以上にならないようにする。

8. 暴露防止措置

- 管理濃度 : 管理濃度なし
- 許容濃度 : 日本産業衛生学会 情報なし
ACGIH 情報なし
- 設備対策 : 法で定められたものなし。
- 保護具 : 取り扱いには必要に応じて保護手袋、保護眼鏡、呼吸用保護具、保護衣を着用する。

9. 物理／化学的性質

- 外観等 : 無色液体
- 沸点 : 100℃以上
- 蒸気圧 : 情報なし
- 揮発性 : 情報なし
- 比重 : 1.045 (25℃)
- 粘度 : 17.5mPa・s (25℃)
- pH : 4.6 (25℃)
- 水への溶解性 : 可溶

10. 危険性情報(安定性・反応性)

引火点	:なし(タグ密閉式)
発火点	:測定データなし
爆発限界	:測定データなし
発火性(自己発火性・水との反応性)	:測定データなし
酸化性	:データなし
自己反応性・爆発性	:なし
粉塵爆発性	:なし
安定性・反応性	:通常の保管においては安定である。
その他	:有用な情報なし

11. 有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

皮膚腐食性	:情報なし。
刺激性(皮膚、目)	:皮膚刺激性あり。眼に入った場合刺激がある。
感作性	:情報なし。
急性毒性(50%致死量等を含む)	:経口急性毒性推定値 5000mg/kg 以上 経皮急性毒性推定値 データなし 吸入急性毒性推定値 20mg/L 以上
亜急性毒性	:データなし
慢性毒性	:測定データなし
変異原性(微生物、染色体異常)	:測定データなし
生殖毒性	:測定データなし
催奇形性	:測定データなし
その他(水と反応して有毒なガスを発生する等を含む)	:なし

12. 環境影響情報

分解性	:測定データなし
蓄積性	:測定データなし
魚毒性	:測定データなし
その他	:pH および硝酸アンモニウムの排水基準あり

13. 廃棄上の注意

事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、または知事等の許可を受けた処理認定業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理すること。

- 廃棄物の処理および清掃に関する法律(第 10,12,13,14 条など)
- 廃棄物の処理および清掃に関する法律(第 2,3,10,12,16 条など)
- 廃棄物の処理および清掃に関する法律施行令(第 1,6,7 条など)

14. 輸送上の注意

直射日光を避け、容器の漏れが無いことを確認し、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

労働安全衛生法・名称を通知すべき危険物および有害物

:硝酸アンモニウム(法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9 政令番号第 308 号)

労働安全衛生法・名称を表示すべき危険物および有害物

:硝酸アンモニウム(法第 57 条、施行令第 18 条 政令番号第 16 の 2 号)

労働安全衛生法・有機則 :該当せず

消防法 :該当せず

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法) :該当せず

16. その他情報

本データシートは製品の安全情報を記したものです。品質に関しましては仕様書等をご参照下さい。

引用文献

“米国 OSHA 危険有害性の周知基準(第 5 版)” JETOC (1995)

“危険物ハンドブック” ギュンター・ホンメル編 シュブリンガー・フェアラーク東京 (1991)

“事業者向け GHS 分類ガイダンス 平成 25 年度改訂版” 経済産業省

“職場の安全サイト” 厚生労働省

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製 品 名 :KBDドリームH液 K-266

会 社 名 :富士薬品工業株式会社

住 所 :東京都港区麻布台 1-3-12

担 当 部 門 :技術管理室

作 成 者 :小林 誠一郎

電 話 番 号 :03-3582-8771

FAX番号:03-3582-8774

緊急連絡先 :営業本部 東京都練馬区豊玉北 3-14-10

電話番号:03-3557-6201

:大阪営業所 大阪府吹田市豊津町 22-1

電話番号:06-6384-1351

作 成 :2004年4月9日

改 訂 :2016年4月26日

整 理 番 号 :500100204

2. 危険有害性の分類

【GHS分類】

—物理化学的性質—

火薬類	:分類対象外
引火性液体	:区分外
自己反応性化学品	:分類できない
自然発火性液体	:分類できない
自己発熱性化学品	:分類できない
水反応可燃性化学品	:分類対象外
酸化性液体	:分類対象外
有機化酸化物	:分類対象外
金属腐食性	:分類できない

—健康に対する有害性—

急性毒性(経口)	:区分外
急性毒性(経皮)	:分類できない
急性毒性(吸入)	:区分4(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
皮膚腐食性/刺激性	:区分1(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	:区分1(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
皮膚感作性	:区分外
呼吸器感作性	:分類できない
生殖細胞変異原性	:分類できない
発がん性	:分類できない

本データシートは現時点で信頼し得ると考える資料ならびに測定等に基づき作成しております。ご需要家各位での取扱いにおかれましては、これを参考とされて使用条件の実態に即した適切な措置を講じて安全にご使用して下さいますようお願い致します。

生殖毒性	:分類できない
特定標的臓器／全身毒性(単回暴露)	:分類できない
特定標的臓器／全身毒性(反復暴露)	:区分1(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
吸引性呼吸器有毒性	:分類できない
水生環境有毒性(急性／慢性)	:分類できない

【ラベル要素】

絵表示

:



注意喚起語

:危険

危険性有毒情報

:[H332]吸入すると有毒(区分4)

:[H314]重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷(区分1)

:[H318]重篤な眼の損傷(区分1)

:[H372]長期にわたる、又は反復暴露による血液系の障害(区分1)

注意書

予防策

:[P280]保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

:[P264]取扱い後は手をよく洗うこと。

:[P260]粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

:[P271]この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。

応急措置

:[P304+P340]吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し呼吸しやすい姿勢で休息させる。

:[P301+P330+P331]飲み込んだ場合:口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

:[P303+P361+P353]皮膚(または髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類を脱ぐこと。

皮膚を水またはシャワーで洗うこと。

:[P363]汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

:[P305+P351+P338]眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

:[P310]直ちに医師に連絡すること。

:[P314]気分が悪い時は、医師の診察/手当を受けること。

保管

:[P405]施錠して保管すること。

廃棄

:[P501]内容物および容器は、都道府県知事の許可を受けた専門の処理業者に委託して、廃棄すること。

【その他の危険性情報】 :特になし

【国・地域情報】 :「15. 適用法令」の項を参照

3. 物質の特定

単一製品・混合製品の区別 : 混合物

化学名 :

成分及び含有量 :

成分名	含有率 wt%	官報公示	CAS No.	備考
ポリオール類	5～15	あり	登録済み	非該当
グリコールエーテル類	15～35	あり	登録済み	<ul style="list-style-type: none"> ・急性毒性(経口):区分 4 ・急性毒性(蒸気):区分 3 ・皮膚腐食性/刺激性:区分 2 ・特定標的臓器毒性(反復暴露):区分 1
界面活性剤	1～5	あり	登録済み	<ul style="list-style-type: none"> ・急性毒性(経口):区分 5 ・急性毒性(経皮):区分 5 ・急性毒性(吸入):区分 4 ・眼に対する重篤な損傷/刺激性:区分 2A
硝酸アンモニウム	2	(1)-395	6484-52-2	<ul style="list-style-type: none"> ・眼に対する重篤な損傷/刺激性:区分 2A ・特定標的臓器毒性(反復暴露):区分 1
有機塩類	1%未満	あり	登録済み	
有機酸類	1%未満	あり	登録済み	
水溶性樹脂	1～3	あり	登録済み	
防腐剤	1～3	あり	登録済み	<ul style="list-style-type: none"> ・眼に対する重篤な損傷/刺激性:区分 1 ・皮膚腐食性/刺激性:区分 1 ・皮膚感作性:区分 1 ・生殖毒性:区分 2 ・特定標的臓器/全身毒性(反復暴露):区分 2
染料	1%未満	あり	登録済み	
水	31～73	対象外	7732-18-5	

本データシートは現時点で信頼し得ると考える資料ならびに測定等に基づき作成しております。ご需要家各位での取扱いにおかれましては、これを参考とされて使用条件の実態に即した適切な措置を講じて安全にご使用して下さいますようお願い致します。

4. 応急措置

- 目に入った場合 : 直ちに清浄な水で5分間以上洗い流し、眼科医の処置を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服や靴を脱がせる。その後、付着または接触部を石鹼水で洗淨し、多量の水を用いて洗い流す。
- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移して安静、保湿を保ち、医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせないで、速やかに医師の処置を受ける。

5. 火災時の措置

- 消火方法 : 初期の火災には水、炭酸ガス、粉末などを用いる。
- 消火剤 : 炭酸ガス・泡・粉末(ドライケミカル)消火器、水噴霧。

6. 漏出時の措置

- 陸上の場合 : 多量漏出の場合は土嚢等で流出を防ぎ、バキューム等で吸い取る。
少量漏出の場合は、ウエス等で拭き取る。

7. 取り扱い及び保管上の注意

- 取り扱い : 取り扱いは、換気の良い場所で行う。
眼、皮膚への接触を防止するため、状況に応じ保護具を着用する。
- 保 管 : 凍結、直射日光を避け、室内で保管する。
保管時の温度は5℃以下および 40℃以上にならないようにする。

8. 暴露防止措置

- 管理濃度 : 管理濃度なし
- 許容濃度 : 日本産業衛生学会 情報なし
ACGIH 情報なし
- 設備対策 : 法で定められたものなし。
- 保護具 : 取り扱いには必要に応じて保護手袋、保護眼鏡、呼吸用保護具、保護衣を着用する。

9. 物理／化学的性質

- 外観等 : 淡緑色液体
- 沸点 : 100℃以上
- 蒸気圧 : 情報なし
- 揮発性 : 情報なし
- 比重 : 1.02(25℃)
- 粘度 : 21mPa・s(25℃)
- pH : 1.9(25℃)
- 水への溶解性 : 可溶

10. 危険性情報(安定性・反応性)

引火点	:引火点なし(タグ密閉式)
発火点	:測定データなし
爆発限界	:測定データなし
発火性(自己発火性・水との反応性)	:測定データなし
酸化性	:データなし
自己反応性・爆発性	:なし
粉塵爆発性	:なし
安定性・反応性	:通常の保管においては安定である。
その他	:有用な情報なし

11. 有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

皮膚腐食性	:情報なし。
刺激性(皮膚、目)	:皮膚刺激性あり。眼に入った場合刺激があり。
感作性	:情報なし。
急性毒性(50%致死量等を含む)	:経口急性毒性推定値 5000mg/kg 以上 経皮急性毒性推定値 データなし 吸入急性毒性推定値 16.9mg/L
亜急性毒性	:測定データなし
慢性毒性	:測定データなし
変異原性(微生物、染色体異常)	:測定データなし
生殖毒性	:測定データなし
催奇形性	:測定データなし
その他(水と反応して有毒なガスを発生する等を含む)	:なし

12. 環境影響情報

分解性	:測定データなし
蓄積性	:測定データなし
魚毒性	:測定データなし
その他	:pH および硝酸アンモニウムの排水基準あり

13. 廃棄上の注意

事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、または知事等の許可を受けた処理認定業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理すること。

- 廃棄物の処理および清掃に関する法律(第 10,12,13,14 条など)
- 廃棄物の処理および清掃に関する法律(第 2,3,10,12,16 条など)
- 廃棄物の処理および清掃に関する法律施行令(第 1,6,7 条など)

14. 輸送上の注意

直射日光を避け、容器の漏れが無いことを確認し、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

労働安全衛生法・名称を通知すべき危険物および有害物

:硝酸アンモニウム(法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9 政令番号第 308 号)

労働安全衛生法・名称を表示すべき危険物および有害物

:硝酸アンモニウム(法第 57 条、施行令第 18 条 政令番号第 16 の 2 号)

労働安全衛生法・有機則 :該当せず

消防法 :該当せず

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法) :該当せず

16. その他情報

本データシートは製品の安全情報を記したものです。品質に関しましては仕様書等をご参照下さい。

引用文献

“米国 OSHA 危険有害性の周知基準(第 5 版)” JETOC(1995)

“危険物ハンドブック” ギュンター・ホンメル編 シュブリンガー・フェアラー東京(1991)

“事業者向け GHS 分類ガイダンス 平成 25 年度改訂版” 経済産業省

“職場の安全サイト” 厚生労働省

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製品名 : KBDドリームH液 K-663

会社名 : 富士薬品工業株式会社

住所 : 東京都港区麻布台 1-3-12

担当部門 : 技術管理室

作成者 : 小林 誠一郎

電話番号 : 03-3582-8771

FAX番号 : 03-3582-8774

緊急連絡先 : 営業本部 東京都練馬区豊玉北 3-14-10

電話番号 : 03-3557-6201

: 大阪営業所 大阪府吹田市豊津町 22-1

電話番号 : 06-6384-1351

作成 : 2004年4月9日

改訂 : 2016年4月26日

整理番号 : 500100105

2. 危険有害性の分類

【GHS分類】

—物理化学的性質—

火薬類	: 分類対象外
引火性液体	: 区分外
自己反応性化学品	: 分類できない
自然発火性液体	: 分類できない
自己発熱性化学品	: 分類できない
水反応可燃性化学品	: 分類対象外
酸化性液体	: 分類対象外
有機化酸化物	: 分類対象外
金属腐食性	: 分類できない

—健康に対する有害性—

急性毒性(経口)	: 区分5(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
急性毒性(経皮)	: 分類できない
急性毒性(吸入)	: 区分外
皮膚腐食性/刺激性	: 区分2(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	: 区分2(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
皮膚感作性	: 区分外
呼吸器感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない

本データシートは現時点で信頼し得ると考える資料ならびに測定等に基づき作成しております。ご需要家各位での取扱いにおかれましては、これを参考とされて使用条件の実態に即した適切な措置を講じて安全にご使用して下さいますようお願い致します。

生殖毒性	:分類できない
特定標的臓器／全身毒性(単回暴露)	:分類できない
特定標的臓器／全身毒性(反復暴露)	:区分1(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
吸引性呼吸器有毒性	:分類できない
水生環境有毒性(急性／慢性)	:分類できない

【ラベル要素】

絵表示

:



注意喚起語 : 危険

危険性有毒情報 : [H303]飲み込むと有毒のおそれ(区分5)

: [H315]皮膚刺激(区分2)

: [H319]強い目刺激(区分2)

: [H372]長期にわたる、又は反復暴露による血液系の障害(区分1)

注意書

予防策 : [P280]保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

: [P264]取扱い後は手をよく洗うこと。

: [P260]粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

: [P270]この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。

応急措置 : [P302+P325]皮膚に着いた場合、多量の水で洗うこと。

: [P332+P313]皮膚刺激が生じた場合医師の診察/手当を受けること。

: [P362+P364]汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

: [P305+P351+P338]眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

: [P337+P313]眼の刺激が続く場合、医師の診察/手当を受けること。

: [P314]気分が悪い時は、医師の診察/手当を受けること。

保管 : 密栓し、直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管すること。

廃棄 : [P501]内容物および容器は、都道府県知事の許可を受けた専門の処理業者に委託して、廃棄すること。

【その他の危険性情報】 : 特になし

【国・地域情報】 : 「15. 適用法令」の項を参照

3. 物質の特定

単一製品・混合製品の区別 : 混合物

化学名 :

成分及び含有量 :

成分名	含有率 wt%	官報公示	CAS No.	備考
ポリオール類	5~15	あり	登録済み	非該当
グリコールエーテル類	15~35	あり	登録済み	<ul style="list-style-type: none"> ・急性毒性(経口):区分 4 ・急性毒性(蒸気):区分 3 ・眼に対する重篤な損傷 /刺激性:区分 1 ・皮膚腐食性/刺激性:区分 2 ・特定標的臓器毒性(反復暴露) :区分 1
界面活性剤	1~5	あり	登録済み	<ul style="list-style-type: none"> ・急性毒性(経口):区分 5 ・急性毒性(経皮):区分 5 ・急性毒性(吸入):区分 4 ・眼に対する重篤な損傷 /刺激性:区分 2A
硝酸アンモニウム	2	(1)-395	6484-52-2	<ul style="list-style-type: none"> ・眼に対する重篤な損傷 /刺激性:区分 2A ・特定標的臓器毒性(反復暴露) :区分 1
有機塩類	1~3	あり	登録済み	<ul style="list-style-type: none"> ・眼に対する重篤な損傷 /刺激性:区分 2A
有機酸類	1~3	あり	登録済み	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚腐食性/刺激性:区分 3 ・眼に対する重篤な損傷 /刺激性:区分 2A
水溶性樹脂	1~3	あり	登録済み	
防腐剤	1~3	あり	登録済み	<ul style="list-style-type: none"> ・眼に対する重篤な損傷 /刺激性:区分 1 ・皮膚腐食性/刺激性:区分 1 ・皮膚感作性:区分 1 ・生殖毒性:区分 2 ・特定標的臓器/全身毒性 (反復暴露):区分 2
染料	微量	あり	登録済み	
水	31~73	対象外	7732-18-5	

本データシートは現時点で信頼し得ると考える資料ならびに測定等に基づき作成しております。ご需要家各位での取扱いにおかれましては、これを参考とされて使用条件の実態に即した適切な措置を講じて安全にご使用して下さいますようお願い致します。

4. 応急措置

- 目に入った場合 : 直ちに清浄な水で5分間以上洗い流し、眼科医の処置を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服や靴を脱がせる。その後、付着または接触部を石鹼水で洗淨し、多量の水を用いて洗い流す。
- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移して安静、保湿を保ち、医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせないで、速やかに医師の処置を受ける。

5. 火災時の措置

- 消火方法 : 初期の火災には水、炭酸ガス、粉末などを用いる。
- 消火剤 : 炭酸ガス・泡・粉末(ドライケミカル)消火器、水噴霧。

6. 漏出時の措置

- 陸上の場合 : 多量漏出の場合は土嚢等で流出を防ぎ、バキューム等で吸い取る。
少量漏出の場合は、ウエス等で拭き取る。

7. 取り扱い及び保管上の注意

- 取り扱い : 取り扱いは、換気の良い場所で行う。
眼、皮膚への接触を防止するため、状況に応じ保護具を着用する。
- 保 管 : 凍結、直射日光を避け、室内で保管する。
保管時の温度は5℃以下および 40℃以上にならないようにする。

8. 暴露防止措置

- 管理濃度 : 管理濃度なし
- 許容濃度 : 日本産業衛生学会 情報なし
ACGIH 情報なし
- 設備対策 : 法で定められたものなし。
- 保護具 : 取り扱いには必要に応じて保護手袋、保護眼鏡、呼吸用保護具、保護衣を着用する。

9. 物理／化学的性質

- 外観等 : 淡緑色液体
- 沸点 : 100℃以上
- 蒸気圧 : 情報なし
- 揮発性 : 情報なし
- 比重 : 1.035 (25℃)
- 粘度 : 26mPa・s (25℃)
- pH : 4.7 (25℃)
- 水への溶解性 : 可溶

10. 危険性情報(安定性・反応性)

引火点	:引火点なし(タグ密閉式)
発火点	:測定データなし
爆発限界	:測定データなし
発火性(自己発火性・水との反応性)	:測定データなし
酸化性	:データなし
自己反応性・爆発性	:なし
粉塵爆発性	:なし
安定性・反応性	:通常の保管においては安定である。
その他	:有用な情報なし

11. 有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

皮膚腐食性	:情報なし。
刺激性(皮膚、目)	:皮膚刺激性あり。眼に入った場合刺激があり。
感作性	:情報なし。
急性毒性(50%致死量等を含む)	:経口急性毒性推定値 4913mg/kg 経皮急性毒性推定値 データなし 吸入急性毒性推定値 20mg/L 以上
亜急性毒性	:測定データなし
慢性毒性	:測定データなし
変異原性(微生物、染色体異常)	:測定データなし
生殖毒性	:測定データなし
催奇形性	:測定データなし
その他(水と反応して有毒なガスを発生する等を含む)	:なし

12. 環境影響情報

分解性	:測定データなし
蓄積性	:測定データなし
魚毒性	:測定データなし
その他	:pH および硝酸アンモニウムの排水基準あり

13. 廃棄上の注意

事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、または知事等の許可を受けた処理認定業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理すること。

- 廃棄物の処理および清掃に関する法律(第 10,12,13,14 条など)
- 廃棄物の処理および清掃に関する法律(第 2,3,10,12,16 条など)
- 廃棄物の処理および清掃に関する法律施行令(第 1,6,7 条など)

14. 輸送上の注意

直射日光を避け、容器の漏れが無いことを確認し、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

労働安全衛生法・名称を通知すべき危険物および有害物

:硝酸アンモニウム(法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9 政令番号第 308 号)

労働安全衛生法・名称を表示すべき危険物および有害物

:硝酸アンモニウム(法第 57 条、施行令第 18 条 政令番号第 16 の 2 号)

労働安全衛生法・有機則 :該当せず

消防法 :該当せず

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法) :該当せず

16. その他情報

本データシートは製品の安全情報を記したものです。品質に関しましては仕様書等をご参照下さい。

引用文献

“米国 OSHA 危険有害性の周知基準(第 5 版)” JETOC(1995)

“危険物ハンドブック” ギュンター・ホンメル編 シュブリンガー・フェアラー東京(1991)

“事業者向け GHS 分類ガイダンス 平成 25 年度改訂版” 経済産業省

“職場の安全サイト” 厚生労働省

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製 品 名 :KBDドリームH液 K-830

会 社 名 :富士薬品工業株式会社

住 所 :東京都港区麻布台 1-3-12

担 当 部 門 :技術管理室

作 成 者 :小林 誠一郎

電 話 番 号 :03-3582-8771

FAX番号:03-3582-8774

緊急連絡先 :営業本部 東京都練馬区豊玉北 3-14-10

電話番号:03-3557-6201

:大阪営業所 大阪府吹田市豊津町 22-1

電話番号:06-6384-1351

作 成 :2005年3月15日

改 訂 :2016年4月20日

整 理 番 号 :500100305

2. 危険有害性の分類

【GHS分類】

－物理化学的性質－

火薬類	:分類対象外
引火性液体	:区分外
自己反応性化学品	:分類できない
自然発火性液体	:分類できない
自己発熱性化学品	:分類できない
水反応可燃性化学品	:分類対象外
酸化性液体	:分類対象外
有機酸化物	:分類対象外
金属腐食性	:分類できない

－健康に対する有害性－

急性毒性(経口)	:区分外
急性毒性(経皮)	:区分外
急性毒性(吸入)	:区分外
皮膚腐食性/刺激性	:区分2(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	:区分2(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
皮膚感作性	:区分外
呼吸器感作性	:分類できない
生殖細胞変異原性	:分類できない
発がん性	:分類できない

本データシートは現時点で信頼し得ると考える資料ならびに測定等に基づき作成しております。ご需要家各位での取扱いにおかれましては、これを参考とされて使用条件の実態に即した適切な措置を講じて安全にご使用して下さいますようお願い致します。

生殖毒性	:分類できない
特定標的臓器／全身毒性(単回暴露)	:分類できない
特定標的臓器／全身毒性(反復暴露)	:区分2(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
吸引性呼吸器有毒性	:分類できない
水生環境有毒性(急性／慢性)	:分類できない

【ラベル要素】

絵表示

:



注意喚起語 :警告

危険性有害情報 :[H315]皮膚刺激(区分2)

:[H319]強い目刺激(区分2)

:[H373]長期にわたる、又は反復暴露による血液系の障害のおそれ(区分2)

注意書

予防策 :[P280]保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

:[P264]取扱い後は手をよく洗うこと。

:[P260]粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

:[P270]この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。

応急措置 :[P370+P378]火災の場合は適切な手段をとること。

:[P302+P325]皮膚に着いた場合、多量の水で洗うこと。

:[P332+P313]皮膚刺激が生じた場合医師の診察/手当を受けること。

:[P362+P364]汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

:[P305+P351+P338]眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

:[P337+P313]眼の刺激が続く場合、医師の診察/手当を受けること。

:[P314]気分が悪い時は、医師の診察/手当を受けること。

保管 :密栓し、直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管すること。

廃棄 :[P501]内容物および容器は、都道府県知事の許可を受けた専門の処理業者に委託して、
廃棄すること。

【その他の危険性情報】 :特になし

【国・地域情報】 :「15. 適用法令」の項を参照

3. 物質の特定

単一製品・混合製品の区別 : 混合物

化学名 :

成分及び含有量 :

成分名	含有率 wt%	CAS No.	官報公示	備考
ポリオール類	20～30	登録済み	あり	
アルコキシアルコール類	10～20	登録済み	あり	・急性毒性(経口):区分 5 ・急性毒性(経皮):区分 5 ・眼に対する重篤な損傷 /刺激性:区分 2B
界面活性剤	3～7	登録済み	あり	・急性毒性(経皮):区分 5 ・眼に対する重篤な損傷 /刺激性:区分 2A
硝酸アンモニウム	2	6484-52-2	(1) -395	・眼に対する重篤な損傷 /刺激性:区分 2A ・特定標的臓器毒性(反復暴露) :区分 1
有機塩類	1～3	登録済み	あり	・眼に対する重篤な損傷 /刺激性:区分 2A
有機酸類	1～3	登録済み	あり	・皮膚腐食性/刺激性:区分 3 ・眼に対する重篤な損傷 /刺激性:区分 2A
水溶性樹脂	1%以下	登録済み	あり	
防腐剤	1～3	登録済み	あり	・眼に対する重篤な損傷 /刺激性:区分 1 ・皮膚腐食性/刺激性:区分 1 ・皮膚感作性:区分 1 ・生殖毒性:区分 2 ・特定標的臓器/全身毒性 (反復暴露):区分 2
水	31～61	7732-18-5	対象外	
染料	微量		官報公示	

本データシートは現時点で信頼し得ると考える資料ならびに測定等に基づき作成しております。ご需要家各位での取扱いにおかれましては、これを参考とされて使用条件の実態に即した適切な措置を講じて安全にご使用して下さいますようお願い致します。

4. 応急措置

- 目に入った場合 : 直ちに清浄な水で5分間以上洗い流し、眼科医の処置を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服や靴を脱がせる。その後、付着または接触部を石鹼水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流す。皮膚刺激があれば医師の診断を受ける。
- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移して安静、保湿を保ち、医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせないで、速やかに医師の処置を受ける。

5. 火災時の措置

- 消火方法 : 初期の火災には水、炭酸ガス、粉末などを用いる。
- 消火剤 : 炭酸ガス・泡・粉末(ドライケミカル)消火器、水噴霧。

6. 漏出時の措置

- 陸上の場合 : 多量漏出の場合は土嚢等で流出を防ぎ、バキューム等で吸い取る。
少量漏出の場合は、ウエス等で拭き取る。

7. 取り扱い及び保管上の注意

- 取り扱い : 取扱いは、換気の良い場所で行う。
眼、皮膚への接触を防止するため、状況に応じ保護具を着用する。
- 保管 : 凍結、直射日光を避け、室内で保管する。
保管時の温度は5℃以下および 40℃以上にならないようにする。

8. 暴露防止措置

- 管理濃度 : 管理濃度なし
- 許容濃度 : 日本産業衛生学会 情報なし
ACGIH 情報なし
- 設備対策 : 法で定められたものなし。
- 保護具 : 取り扱いには必要に応じて保護手袋、保護眼鏡、呼吸用保護具、保護衣を着用する。

9. 物理／化学的性質

- 外観等 : 淡緑色液体
- 沸点 : 100℃以上
- 蒸気圧 : 情報なし
- 揮発性 : 情報なし
- 比重 : 1.06(25℃)
- 粘度 : 14.5mPa・s(25℃)
- pH : 4.6(25℃)
- 水への溶解性 : 可溶

10. 危険性情報(安定性・反応性)

引火点	:なし(タグ密閉式)
発火点	:測定データなし
爆発限界	:測定データなし
発火性(自己発火性・水との反応性)	:測定データなし
酸化性	:データなし
自己反応性・爆発性	:なし
粉塵爆発性	:なし
安定性・反応性	:通常の保管においては安定である。
その他	:有用な情報なし

11. 有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

皮膚腐食性	:情報なし
刺激性(皮膚、目)	:皮膚刺激性あり。眼に入った場合刺激がある。
感作性	:情報なし
急性毒性(50%致死量等を含む)	:経口急性毒性推定値 5000mg/kg 以上 経皮急性毒性推定値 5000mg/kg 以上 吸入急性毒性推定値 20mg/L 以上
亜急性毒性	:データなし
慢性毒性	:測定データなし
変異原生(微生物、染色体異常)	:測定データなし
生殖毒性	:測定データなし
催奇形性	:測定データなし
その他(水と反応して有毒なガスを発生する等を含む)	:なし

12. 環境影響情報

分解性	:測定データなし
蓄積性	:測定データなし
魚毒性	:測定データなし
その他	:pH および硝酸アンモニウムの排水基準あり

13. 廃棄上の注意

事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、または知事等の許可を受けた処理認定業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理すること。

- 廃棄物の処理および清掃に関する法律(第 10,12,13,14 条など)
- 廃棄物の処理および清掃に関する法律(第 2,3,10,12,16 条など)
- 廃棄物の処理および清掃に関する法律施行令(第 1,6,7 条など)

14. 輸送上の注意

直射日光を避け、容器の漏れが無いことを確認し、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

労働安全衛生法・名称を通知すべき危険物および有害物

:硝酸アンモニウム(法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9 政令番号第 308 号)

労働安全衛生法・名称を表示すべき危険物および有害物

:硝酸アンモニウム(法第 57 条、施行令第 18 条 政令番号第 16 の 2 号)

労働安全衛生法・有機則 :該当せず

消防法 :該当せず

化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法) :該当せず

16. その他情報

本データシートは製品の安全情報を記したものです。品質に関しましては仕様書等をご参照下さい。

引用文献

“米国 OSHA 危険有害性の周知基準(第 5 版)” JETOC(1995)

“危険物ハンドブック” ギュンター・ホンメル編 シュプリンガー・フェアラー東京(1991)

“事業者向け GHS 分類ガイダンス 平成 25 年度改訂版” 経済産業省

“職場の安全サイト” 厚生労働省

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製品名 :KBDドリームH液 K-BF9

会社名 :富士薬品工業株式会社

住所 :東京都港区麻布台 1-3-12

担当部門 :技術管理室

作成者 :小林 誠一郎

電話番号 :03-3582-8771

FAX番号:03-3582-8774

緊急連絡先 :営業本部 東京都練馬区豊玉北 3-14-10

電話番号:03-3557-6201

:大阪営業所 大阪府吹田市豊津町 22-1

電話番号:06-6384-1351

作成 :2010年3月29日

改訂 :2016年4月26日

整理番号:500101405

2. 危険有害性の分類

【GHS分類】

—物理化学的性質—

火薬類	:分類対象外
引火性液体	:区分外
自己反応性化学品	:分類できない
自然発火性液体	:分類できない
自己発熱性化学品	:分類できない
水反応可燃性化学品	:分類対象外
酸化性液体	:分類対象外
有機化酸化物	:分類対象外
金属腐食性	:分類できない

—健康に対する有害性—

急性毒性(経口)	:区分外
急性毒性(経皮)	:分類できない
急性毒性(吸入)	:区分外
皮膚腐食性/刺激性	:区分2(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	:区分2(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
皮膚感作性	:区分外
呼吸器感作性	:分類できない
生殖細胞変異原性	:分類できない
発がん性	:分類できない

本データシートは現時点で信頼し得ると考える資料ならびに測定等に基づき作成しております。ご需要家各位での取扱いにおかれましては、これを参考とされて使用条件の実態に即した適切な措置を講じて安全にご使用して下さいますようお願い致します。

生殖毒性	:分類できない
特定標的臓器／全身毒性(単回暴露)	:分類できない
特定標的臓器／全身毒性(反復暴露)	:区分1(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
吸引性呼吸器有毒性	:分類できない
水生環境有毒性(急性／慢性)	:分類できない

【ラベル要素】

絵表示

:



注意喚起語	:危険
危険性有毒情報	: [H315]皮膚刺激(区分2) : [H319]強い目刺激(区分2) : [H372]長期にわたる、又は反復暴露による血液系の障害(区分1)

注意書

予防策	: [P280]保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。 : [P264]取扱い後は手をよく洗うこと。 : [P260]粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 : [P270]この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
応急措置	: [P302+P325]皮膚に着いた場合、多量の水で洗うこと。 : [P332+P313]皮膚刺激が生じた場合医師の診察/手当を受けること。 : [P362+P364]汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 : [P305+P351+P338]眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。 : [P337+P313]眼の刺激が続く場合、医師の診察/手当を受けること。 : [P314]気分が悪い時は、医師の診察/手当を受けること。
保管	: 密栓し、直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管すること。
廃棄	: [P501]内容物および容器は、都道府県知事の許可を受けた専門の処理業者に委託して、廃棄すること。

【その他の危険性情報】 :特になし

【国・地域情報】 :「15. 適用法令」の項を参照

3. 物質の特定

単一製品・混合製品の区別 : 混合物

化学名 :

成分及び含有量 :

成分名	含有率 wt%	CAS No.	官報公示	備考
グリコールエーテル類	15～35	登録済み	あり	<ul style="list-style-type: none"> ・急性毒性(経口):区分 4 ・急性毒性(蒸気):区分 3 ・皮膚腐食性/刺激性:区分 2 ・特定標的臓器毒性(反復暴露):区分1
グリコール類	5～10	登録済み	あり	
界面活性剤	1%未満	登録済み	あり	
有機塩類	1～3	登録済み	あり	<ul style="list-style-type: none"> ・眼に対する重篤な損傷/刺激性:区分 2A
有機酸類	1～3	登録済み	あり	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚腐食性/刺激性:区分 3 ・眼に対する重篤な損傷/刺激性:区分 2A
水溶性樹脂	1%未満	登録済み	あり	
防腐剤	1%未満	登録済み	あり	
水	46～75	7732-18-5	対象外	

本データシートは現時点で信頼し得ると考える資料ならびに測定等に基づき作成しております。ご需要家各位での取扱いにおかれましては、これを参考とされて使用条件の実態に即した適切な措置を講じて安全にご使用して下さいますようお願い致します。

4. 応急措置

- 目に入った場合 : 直ちに清浄な水で5分間以上洗い流し、眼科医の処置を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服や靴を脱がせる。その後、付着または接触部を石鹼水で洗淨し、多量の水を用いて洗い流す。
- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移して安静、保湿を保ち、医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせないで、速やかに医師の処置を受ける。

5. 火災時の措置

- 消火方法 : 初期の火災には水、炭酸ガス、粉末などを用いる。
- 消火剤 : 炭酸ガス・泡・粉末(ドライケミカル)消火器、水噴霧。

6. 漏出時の措置

- 陸上の場合 : 多量漏出の場合は土嚢等で流出を防ぎ、バキューム等で吸い取る。少量漏出の場合は、ウエス等で拭き取る。

7. 取り扱い及び保管上の注意

- 取り扱い : 取扱いは、換気の良い場所で行う。眼、皮膚への接触を防止するため、状況に応じ保護眼鏡、保護手袋などの保護具を着用する。
- 保 管 : 凍結、直射日光を避け、室内で保管する。保管時の温度は5℃以下および40℃以上にならないようにする。

8. 暴露防止措置

- 管理濃度 : 管理濃度なし
- 許容濃度 : 日本産業衛生学会 情報なし
ACGIH 情報なし
- 設備対策 : 法で定められたものなし。
- 保護具 : 取り扱いには必要に応じて保護手袋、保護眼鏡、呼吸用保護具、保護衣を着用する。

9. 物理／化学的性質

- 外観等 : 無色液体
- 沸点 : 100℃以上
- 蒸気圧 : 情報なし
- 揮発性 : 情報なし
- 比重 : 1.010(25℃)
- 粘度 : 6.0mPa・s(25℃)
- pH : 4.7(25℃)
- 水への溶解性 : 可溶

本データシートは現時点で信頼し得ると考える資料ならびに測定等に基づき作成しております。ご需要家各位での取扱いにおかれましては、これを参考とされて使用条件の実態に即した適切な措置を講じて安全にご使用して下さいます様お願い致します。

10. 危険性情報(安定性・反応性)

引火点	:なし(タグ密閉式)
発火点	:測定データなし
爆発限界	:測定データなし
発火性(自己発火性・水との反応性)	:測定データなし
酸化性	:データなし
自己反応性・爆発性	:なし
粉塵爆発性	:なし
安定性・反応性	:通常の保管においては安定である。
その他	:有用な情報なし

11. 有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

皮膚腐食性	:情報なし
刺激性(皮膚、目)	:皮膚刺激性あり。眼に入った場合刺激がある。
感作性	:情報なし
急性毒性(50%致死量等を含む)	:経口急性毒性推定値 5000mg/kg 以上 経皮急性毒性推定値 データなし 吸入急性毒性推定値 20mg/L 以上
亜急性毒性	:データなし
慢性毒性	:測定データなし
変異原性(微生物、染色体異常)	:測定データなし
生殖毒性	:測定データなし
催奇形性	:測定データなし
その他(水と反応して有毒なガスを発生する等を含む)	:なし

12. 環境影響情報

分解性	:測定データなし
蓄積性	:測定データなし
魚毒性	:測定データなし
その他	:pH の排水基準あり

13. 廃棄上の注意

事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、または知事等の許可を受けた処理認定業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理すること。

- 廃棄物の処理および清掃に関する法律(第 10,12,13,14 条など)
- 廃棄物の処理および清掃に関する法律(第 2,3,10,12,16 条など)
- 廃棄物の処理および清掃に関する法律施行令(第 1,6,7 条など)

14. 輸送上の注意

直射日光を避け、容器の漏れが無いことを確認し、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

労働安全衛生法・有機則	: 該当せず
消防法	: 該当せず
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)	: 該当せず

16. その他情報

本データシートは製品の安全情報を記したものです。品質に関しましては仕様書等をご参照下さい。

引用文献

- “米国 OSHA 危険有害性の周知基準 (第 5 版)” JETOC (1995)
- “危険物ハンドブック” ギュンター・ホンメル編 シュブリンガー・フェアラー東京 (1991)
- “事業者向け GHS 分類ガイダンス 平成 25 年度改訂版” 経済産業省
- “職場の安全サイト” 厚生労働省

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製品名 :KBDドリームH液 K-BFIH

会社名 :富士薬品工業株式会社

住所 :東京都港区麻布台 1-3-12

担当部門 :技術管理室

作成者 :小林 誠一郎

電話番号 :03-3582-8771

FAX番号:03-3582-8774

緊急連絡先 :営業本部 東京都練馬区豊玉北 3-14-10

電話番号:03-3557-6201

:大阪営業所 大阪府吹田市豊津町 22-1

電話番号:06-6384-1351

作成 :2010年3月29日

改訂 :2016年4月26日

整理番号 :500103003

2. 危険有害性の分類

【GHS分類】

—物理化学的性質—

火薬類	:分類対象外
引火性液体	:区分外
自己反応性化学品	:分類できない
自然発火性液体	:分類できない
自己発熱性化学品	:分類できない
水反応可燃性化学品	:分類対象外
酸化性液体	:分類対象外
有機化酸化物	:分類対象外
金属腐食性	:分類できない

—健康に対する有害性—

急性毒性(経口)	:区分5
急性毒性(経皮)	:分類できない
急性毒性(吸入)	:分類できない
皮膚腐食性/刺激性	:区分2(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	:区分2(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
皮膚感作性	:区分外
呼吸器感作性	:分類できない
生殖細胞変異原性	:分類できない
発がん性	:分類できない

本データシートは現時点で信頼し得ると考える資料ならびに測定等に基づき作成しております。ご需要家各位での取扱いにおかれましては、これを参考とされて使用条件の実態に即した適切な措置を講じて安全にご使用して下さいますようお願い致します。

生殖毒性	:分類できない
特定標的臓器／全身毒性(単回暴露)	:分類できない
特定標的臓器／全身毒性(反復暴露)	:区分1(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
吸引性呼吸器有毒性	:分類できない
水生環境有毒性(急性／慢性)	:分類できない

【ラベル要素】

絵表示

:



注意喚起語 :危険

危険性有害情報 :[H303]飲み込むと有毒のおそれ(区分5)

:[H315]皮膚刺激(区分2)

:[H319]強い目刺激(区分2)

:[H372]長期にわたる、又は反復暴露による血液系の障害(区分1)

注意書

予防策 :[P280]保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

:[P264]取扱い後は手をよく洗うこと。

:[P260]粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

:[P270]この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。

応急措置 :[P302+P325]皮膚に着いた場合、多量の水で洗うこと。

:[P332+P313]皮膚刺激が生じた場合医師の診察/手当を受けること。

:[P362+P364]汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

:[P305+P351+P338]眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

:[P337+P313]眼の刺激が続く場合、医師の診察/手当を受けること。

:[P314]気分が悪い時は、医師の診察/手当を受けること。

保管 :密栓し、直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管すること。

廃棄 :[P501]内容物および容器は、都道府県知事の許可を受けた専門の処理業者に委託して、
廃棄すること。

【その他の危険性情報】 :特になし

【国・地域情報】 :「15. 適用法令」の項を参照

3. 物質の特定

単一製品・混合製品の区別 : 混合物

化学名 :

成分及び含有量 :

成分名	含有率 wt%	CAS No.	官報公示	備考
グリコールエーテル類	15～35	登録済み	あり	<ul style="list-style-type: none"> ・急性毒性(経口):区分 4 ・急性毒性(蒸気):区分 3 ・皮膚腐食性/刺激性:区分 2 ・特定標的臓器毒性(反復暴露):区分 1
グリコール類	5～10	登録済み	あり	
界面活性剤	1～3	登録済み	あり	
有機塩類	1～3	登録済み	あり	<ul style="list-style-type: none"> ・眼に対する重篤な損傷/刺激性:区分 2A
有機酸類	1～3	登録済み	あり	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚腐食性/刺激性:区分 3 ・眼に対する重篤な損傷/刺激性:区分 2A
硝酸アンモニウム	1	6484-52-2	(1)-395	<ul style="list-style-type: none"> ・眼に対する重篤な損傷/刺激性:区分 2A ・特定標的臓器毒性(反復暴露):区分 1
水溶性樹脂	1～3	登録済み	あり	
防腐剤	1～3	登録済み	あり	<ul style="list-style-type: none"> ・眼に対する重篤な損傷/刺激性:区分 1 ・皮膚腐食性/刺激性:区分 1 ・皮膚感作性:区分 1 ・生殖毒性:区分 2 ・特定標的臓器/全身毒性(反復暴露):区分 2
水	40～75	7732-18-5	対象外	

本データシートは現時点で信頼し得ると考える資料ならびに測定等に基づき作成しております。ご需要家各位での取扱いにおかれましては、これを参考とされて使用条件の実態に即した適切な措置を講じて安全にご使用して下さいますようお願い致します。

4. 応急措置

- 目に入った場合 : 直ちに清浄な水で5分間以上洗い流し、眼科医の処置を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服や靴を脱がせる。その後、付着または接触部を石鹼水で洗淨し、多量の水を用いて洗い流す。
- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移して安静、保湿を保ち、医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせないで、速やかに医師の処置を受ける。

5. 火災時の措置

- 消火方法 : 初期の火災には水、炭酸ガス、粉末などを用いる。
- 消火剤 : 炭酸ガス・泡・粉末(ドライケミカル)消火器、水噴霧。

6. 漏出時の措置

- 陸上の場合 : 多量漏出の場合は土嚢等で流出を防ぎ、バキューム等で吸い取る。少量漏出の場合は、ウエス等で拭き取る。

7. 取り扱い及び保管上の注意

- 取り扱い : 取扱いは、換気の良い場所で行う。眼、皮膚への接触を防止するため、状況に応じ保護眼鏡、保護手袋などの保護具を着用する。
- 保 管 : 凍結、直射日光を避け、室内で保管する。保管時の温度は5℃以下および40℃以上にならないようにする。

8. 暴露防止措置

- 管理濃度 : 管理濃度なし
- 許容濃度 : 日本産業衛生学会 情報なし
ACGIH 情報なし
- 設備対策 : 法で定められたものなし。
- 保護具 : 取り扱いには必要に応じて保護手袋、保護眼鏡、呼吸用保護具、保護衣を着用する。

9. 物理／化学的性質

- 外観等 : 無色液体
- 沸点 : 100℃以上
- 蒸気圧 : 情報なし
- 揮発性 : 情報なし
- 比重 : 1.01±0.05 (25℃)
- 粘度 : 6±1mPa・s (25℃)
- pH(25℃) : 4.7±0.1
- 水への溶解性 : 可溶

本データシートは現時点で信頼し得ると考える資料ならびに測定等に基づき作成しております。ご需要家各位での取扱いにおかれましては、これを参考とされて使用条件の実態に即した適切な措置を講じて安全にご使用して下さいます様お願い致します。

10. 危険性情報(安定性・反応性)

引火点	:なし(タグ密閉式)
発火点	:測定データなし
爆発限界	:測定データなし
発火性(自己発火性・水との反応性)	:測定データなし
酸化性	:データなし
自己反応性・爆発性	:なし
粉塵爆発性	:なし
安定性・反応性	:通常の保管においては安定である。
その他	:有用な情報なし

11. 有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

皮膚腐食性	:情報なし
刺激性(皮膚、目)	:皮膚刺激性あり。眼に入った場合刺激がある。
感作性	:情報なし
急性毒性(50%致死量等を含む)	:経口急性毒性推定値 4858mg/kg 経皮急性毒性推定値 データなし 吸入急性毒性推定値 20mg/L 以上
亜急性毒性	:データなし
慢性毒性	:測定データなし
変異原性(微生物、染色体異常)	:測定データなし
生殖毒性	:測定データなし
催奇形性	:測定データなし
その他(水と反応して有毒なガスを発生する等を含む)	:なし

12. 環境影響情報

分解性	:測定データなし
蓄積性	:測定データなし
魚毒性	:測定データなし
その他	:pH および硝酸アンモニウムの排水基準あり

13. 廃棄上の注意

事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、または知事等の許可を受けた処理認定業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理すること。

- 廃棄物の処理および清掃に関する法律(第 10,12,13,14 条など)
- 廃棄物の処理および清掃に関する法律(第 2,3,10,12,16 条など)
- 廃棄物の処理および清掃に関する法律施行令(第 1,6,7 条など)

14. 輸送上の注意

直射日光を避け、容器の漏れが無いことを確認し、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

労働安全衛生法・名称を通知すべき危険物および有害物

:硝酸アンモニウム(法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9 政令番号第 308 号)

労働安全衛生法・名称を表示すべき危険物および有害物

:硝酸アンモニウム(法第 57 条、施行令第 18 条 政令番号第 16 の 2 号)

労働安全衛生法・有機則 :該当せず

消防法 :該当せず

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法) :該当せず

16. その他情報

本データシートは製品の安全情報を記したものです。品質に関しましては仕様書等をご参照下さい。

引用文献

“米国 OSHA 危険有害性の周知基準(第 5 版)” JETOC(1995)

“危険物ハンドブック” ギュンター・ホンメル編 シュブリンガー・フェアラー東京(1991)

“事業者向け GHS 分類ガイダンス 平成 25 年度改訂版” 経済産業省

“職場の安全サイト” 厚生労働省

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製品名 : KBDドリームH液 K-BFIH-T
 会社名 : 富士薬品工業株式会社
 住所 : 東京都港区麻布台 1-3-12
 担当部門 : 技術管理室
 作成者 : 小林 誠一郎
 電話番号 : 03-3582-8771 FAX番号: 03-3582-8774
 緊急連絡先 : 営業本部 東京都練馬区豊玉北 3-14-10 電話番号: 03-3557-6201
 大阪営業所 大阪府吹田市豊津町 22-1 電話番号: 06-6384-1351
 作成 : 2010年3月29日
 改訂 : 2016年4月26日
 整理番号 : 500103004

2. 危険有害性の分類

【GHS分類】

－物理化学的性質－

火薬類	: 分類対象外
引火性液体	: 区分外
自己反応性化学品	: 分類できない
自然発火性液体	: 分類できない
自己発熱性化学品	: 分類できない
水反応可燃性化学品	: 分類対象外
酸化性液体	: 分類対象外
有機化酸化物	: 分類対象外
金属腐食性	: 分類できない

－健康に対する有害性－

急性毒性(経口)	: 区分5
急性毒性(経皮)	: 分類できない
急性毒性(吸入)	: 分類できない
皮膚腐食性/刺激性	: 区分2(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	: 区分2(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
皮膚感作性	: 区分外
呼吸器感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない

本データシートは現時点で信頼し得ると考える資料ならびに測定等に基づき作成しております。ご需要家各位での取扱いにおかれましては、これを参考とされて使用条件の実態に即した適切な措置を講じて安全にご使用して下さいますようお願い致します。

生殖毒性	:分類できない
特定標的臓器／全身毒性(単回暴露)	:分類できない
特定標的臓器／全身毒性(反復暴露)	:区分1(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
吸引性呼吸器有毒性	:分類できない
水生環境有毒性(急性／慢性)	:分類できない

【ラベル要素】

絵表示

:



注意喚起語 :危険

危険性有毒情報 :[H303]飲み込むと有毒のおそれ(区分5)

:[H315]皮膚刺激(区分2)

:[H319]強い目刺激(区分2)

:[H372]長期にわたる、又は反復暴露による血液系の障害(区分1)

注意書

予防策 :[P280]保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

:[P264]取扱い後は手をよく洗うこと。

:[P260]粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

:[P270]この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。

応急措置 :[P302+P325]皮膚に着いた場合、多量の水で洗うこと。

:[P332+P313]皮膚刺激が生じた場合医師の診察/手当を受けること。

:[P362+P364]汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

:[P305+P351+P338]眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

:[P337+P313]眼の刺激が続く場合、医師の診察/手当を受けること。

:[P314]気分が悪い時は、医師の診察/手当を受けること。

保管 :密栓し、直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管すること。

廃棄 :[P501]内容物および容器は、都道府県知事の許可を受けた専門の処理業者に委託して、
廃棄すること。

【その他の危険性情報】 :特になし

【国・地域情報】 :「15. 適用法令」の項を参照

3. 物質の特定

単一製品・混合製品の区別 : 混合物

化学名 :

成分及び含有量 :

成分名	含有率 wt%	CAS No.	官報公示	備考
グリコールエーテル類	15～35	登録済み	あり	<ul style="list-style-type: none"> ・急性毒性(経口):区分 4 ・急性毒性(蒸気):区分 3 ・皮膚腐食性/刺激性:区分 2 ・特定標的臓器毒性(反復暴露):区分 1
グリコール類	5～10	登録済み	あり	
界面活性剤	1～3	登録済み	あり	
有機塩類	1～3	登録済み	あり	<ul style="list-style-type: none"> ・眼に対する重篤な損傷/刺激性:区分 2A
有機酸類	1～3	登録済み	あり	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚腐食性/刺激性:区分 3 ・眼に対する重篤な損傷/刺激性:区分 2A
硝酸アンモニウム	1	6484-52-2	(1)-395	<ul style="list-style-type: none"> ・眼に対する重篤な損傷/刺激性:区分 2A ・特定標的臓器毒性(反復暴露):区分 1
水溶性樹脂	1～3	登録済み	あり	
防腐剤	1～3	登録済み	あり	<ul style="list-style-type: none"> ・眼に対する重篤な損傷/刺激性:区分 1 ・皮膚腐食性/刺激性:区分 1 ・皮膚感作性:区分 1 ・生殖毒性:区分 2 ・特定標的臓器/全身毒性(反復暴露):区分 2
水	40～75	7732-18-5	対象外	

本データシートは現時点で信頼し得ると考える資料ならびに測定等に基づき作成しております。ご需要家各位での取扱いにおかれましては、これを参考とされて使用条件の実態に即した適切な措置を講じて安全にご使用して下さいますようお願い致します。

4. 応急措置

- 目に入った場合 : 直ちに清浄な水で5分間以上洗い流し、眼科医の処置を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服や靴を脱がせる。その後、付着または接触部を石鹼水で洗淨し、多量の水を用いて洗い流す。
- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移して安静、保湿を保ち、医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせないで、速やかに医師の処置を受ける。

5. 火災時の措置

- 消火方法 : 初期の火災には水、炭酸ガス、粉末などを用いる。
- 消火剤 : 炭酸ガス・泡・粉末(ドライケミカル)消火器、水噴霧。

6. 漏出時の措置

- 陸上の場合 : 多量漏出の場合は土嚢等で流出を防ぎ、バキューム等で吸い取る。少量漏出の場合は、ウエス等で拭き取る。

7. 取り扱い及び保管上の注意

- 取り扱い : 取扱いは、換気の良い場所で行う。眼、皮膚への接触を防止するため、状況に応じ保護眼鏡、保護手袋などの保護具を着用する。
- 保 管 : 凍結、直射日光を避け、室内で保管する。保管時の温度は5℃以下および40℃以上にならないようにする。

8. 暴露防止措置

- 管理濃度 : 管理濃度なし
- 許容濃度 : 日本産業衛生学会 情報なし
ACGIH 情報なし
- 設備対策 : 法で定められたものなし。
- 保護具 : 取り扱いには必要に応じて保護手袋、保護眼鏡、呼吸用保護具、保護衣を着用する。

9. 物理／化学的性質

- 外観等 : 無色液体
- 沸点 : 100℃以上
- 蒸気圧 : 情報なし
- 揮発性 : 情報なし
- 比重 : 1.01±0.05 (25℃)
- 粘度 : 6±1mPa・s (25℃)
- pH(25℃) : 4.7±0.1
- 水への溶解性 : 可溶

本データシートは現時点で信頼し得ると考える資料ならびに測定等に基づき作成しております。ご需要家各位での取扱いにおかれましては、これを参考とされて使用条件の実態に即した適切な措置を講じて安全にご使用して下さいます様お願い致します。

10. 危険性情報(安定性・反応性)

引火点	:なし(タグ密閉式)
発火点	:測定データなし
爆発限界	:測定データなし
発火性(自己発火性・水との反応性)	:測定データなし
酸化性	:データなし
自己反応性・爆発性	:なし
粉塵爆発性	:なし
安定性・反応性	:通常の保管においては安定である。
その他	:有用な情報なし

11. 有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

皮膚腐食性	:情報なし
刺激性(皮膚、目)	:皮膚刺激性あり。眼に入った場合刺激がある。
感作性	:情報なし
急性毒性(50%致死量等を含む)	:経口急性毒性推定値 4858mg/kg 経皮急性毒性推定値 データなし 吸入急性毒性推定値 20mg/L 以上
亜急性毒性	:データなし
慢性毒性	:測定データなし
変異原性(微生物、染色体異常)	:測定データなし
生殖毒性	:測定データなし
催奇形性	:測定データなし
その他(水と反応して有毒なガスを発生する等を含む)	:なし

12. 環境影響情報

分解性	:測定データなし
蓄積性	:測定データなし
魚毒性	:測定データなし
その他	:pH および硝酸アンモニウムの排水基準あり

13. 廃棄上の注意

事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、または知事等の許可を受けた処理認定業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理すること。

- 廃棄物の処理および清掃に関する法律(第 10,12,13,14 条など)
- 廃棄物の処理および清掃に関する法律(第 2,3,10,12,16 条など)
- 廃棄物の処理および清掃に関する法律施行令(第 1,6,7 条など)

14. 輸送上の注意

直射日光を避け、容器の漏れが無いことを確認し、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

労働安全衛生法・名称を通知すべき危険物および有害物

:硝酸アンモニウム(法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9 政令番号第 308 号)

労働安全衛生法・名称を表示すべき危険物および有害物

:硝酸アンモニウム(法第 57 条、施行令第 18 条 政令番号第 16 の 2 号)

労働安全衛生法・有機則 :該当せず

消防法 :該当せず

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法) :該当せず

16. その他情報

本データシートは製品の安全情報を記したものです。品質に関しましては仕様書等をご参照下さい。

引用文献

“米国 OSHA 危険有害性の周知基準(第 5 版)” JETOC(1995)

“危険物ハンドブック” ギュンター・ホンメル編 シュブリンガー・フェアラー東京(1991)

“事業者向け GHS 分類ガイダンス 平成 25 年度改訂版” 経済産業省

“職場の安全サイト” 厚生労働省